

丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

環境に優しい、嬉しい報告です！

流入中継ポンプ槽から油脂は、全く消えました！！



中継・分配ポンプ槽
旋回流発生装置設置前

当該ポンプ槽は、曝気のため槽の中心部を除き、外周に固形油脂分が大量に堆積しています。

DSP排水処理槽の流入ポンプ槽は、大半がこのような状態です。



ポンプ槽に堆積する固形油脂

流入及び中継ポンプ槽は、流入水とそこから発生する臭気を抑制するために曝気をしています。

その結果、粉碎生ごみの油脂分が固形化し堆積します。

●これまではポンプ槽の油脂を掬上げ燃えるゴミで処分していた。

●大方の業者は、費用を掛けて汚泥引き抜き処分しています。

※旋回流発生装置を設置すれば、固形油脂の処分は無くなります。



中継・分配ポンプ槽
旋回流発生装置設置前

当該ポンプ槽の曝気を停止しました。

写真の通り固形油脂は浮上し水面を覆っています。

装置設置前に油脂は全部除去しました。油脂はバケツ100杯分。



丸型流入ポンプ槽
旋回流発生装置設置前

固形油脂を嫌い、ポンプ槽の曝気を停止し、点検時には堆積する柔らかい油脂を次槽にポンプアップしていました。

それでも壁面にできた板状の固形油脂は剥離しポンプ槽に浮遊します。



中継・分配ポンプ槽
旋回流発生装置設置後

旋回流発生装置後、油脂は無くなりました。槽内の臭気もなくなりました。

ちなみに、固形油脂分の処分は業務用DSPで粉碎液状にして、分配処理しました。



丸型流入ポンプ槽
旋回流発生装置設置後

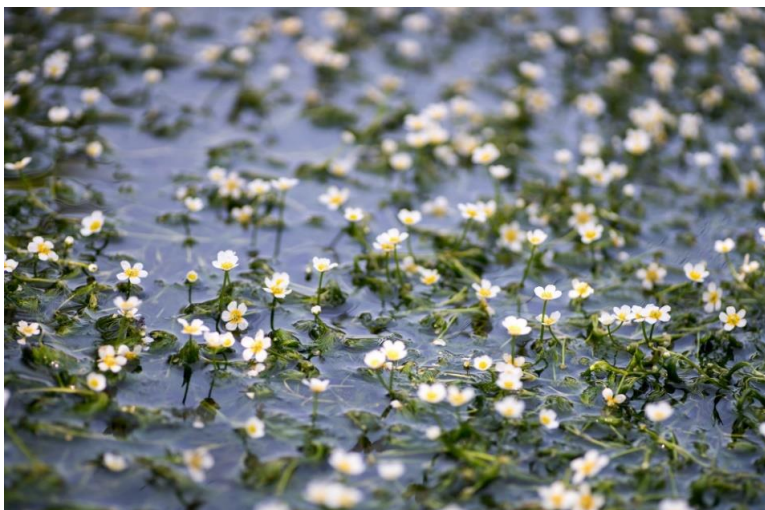
わずかに油脂は浮遊していますが、これ以上増加することはありません。

油脂の除去作業は点検からなくなりました。

点検作業は、簡単な水洗浄で済みます。攪拌ブローは不要です。

水物語 No78

清流に咲く「水中花・梅花藻」は涼感を与えてくれます！



汚泥ゼロ・臭気ゼロ！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京

江戸時代に宿を通る大名や役人に、人足や馬を提供した施設が宿場です。中山道には六十九の宿場がありました。醒井宿は61番で今も復元され、江戸時代にタイムスリップさせてくれます。

名水の郷としても知られる醒井宿は「琵琶湖の水景観」として日本遺産に登録されており、清流に沿って宿場町が広がっています。

その宿場に流れる地蔵川は、居醒の清水などから湧き出る清水によってできた川で、大変珍しい水中花「梅花藻」が水底に群生しています。

この水草は、14℃の清流にしか育たず、全国でも生育場所は限られています。

梅花藻は梅の花に似て白く小さな花を初夏から秋にかけて咲かせます。清流とともに見る人々を癒してくれます。

古代史において英雄と称される「日本武尊」が熱病で倒れた際、居醒の清水から湧き出る水で毒を洗い流したそうです。そしてこの居醒の清水は「醒井」という地名の由来になったそうです。